

2025年度事業計画書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 全国動物避難所協会

1 事業実施の方針

2025年2月に発生した岩手県大船渡市の山林火災に関して、様々な団体が支援活動を行っているが、当協会においても、岩手県で登録されている民間動物避難所において、動物の受け入れがあり、当協会が支援物資等の面での支援を行った。また、近隣県である青森県で登録している動物避難所が岩手県の避難所に支援に向かうなど、支援をし合うネットワーク体制が見られた。このようなつながりができてきたために、被災地でどのような支援が必要とされているかの情報が入手でき、物資の手配など迅速に行うことができた。

当法人の設立当初からの目的の通り、災害が発生する前に事前に動物避難所・ペット防災啓発窓口との顔の見える関係性を作っておくことが、発災時に実際に被災者と地域に寄り添った支援活動を行う上で必要不可欠であることを改めて実感した。

そこで、2025年度も、2024年度に実施してきた関係性の構築をさらに進め、災害発生時に連携した対応が取れる体制を整えていく。活動の規模を拡大することで、登録者の増加、登録者との関係強化に努める。広く社会に認知されるように積極的な広報活動を展開し、法人賛助会員やマンスリーサポーターを獲得し、その財源をもって、動物避難基金の準備金等とすると共に、各種規定類の整備を行うことも含めて、基盤強化を図ることで、災害発生に備える体制を整える。積極的に助成金申請を行い、事業予算の獲得を図る。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位:千円)
うちトコ動物避難所マップWEBサイト運営事業	【事業方針】 2024年度に引き続き、うちトコ動物避難所マップWEBサイトを運営する。 【具体的事業】 - WEBサイトの運営 - 定期的なメンテナンス	(A)通年 (B)WEB上 (C)3人	(D)社会一般 (E)不特定多数	0
民間動物避難所連携事業	【事業方針】 2024年度に引き続き、民間動物避難所の登録増加に向けての募集を継続する。災害発生時に、SNSツールを用いて互いに連絡を取り合える体制作りを行う。2025年度中に、各都道府県に1件ずつの登録がある状態を目指す。 公開件数76件(3月31日時点) 今季目標件数 合計150施設 【具体的事業】 - 民間動物避難所の募集受付 - 動物避難所開設計画の作成支援 - 避難所連携防災訓練の実施	(A)通年 (B)WEB上及び登録所在地 (C)3人	(D)民間動物避難所登録者 (E)合計150件	2,450

ペット防災啓 発窓口連携事 業	【事業方針】 ペット防災啓発窓口の登録者に対して、啓発ツールをお送りするだけの関係ではなく、登録者自身に何ができるのかをお伺いし、平時・災害時に問わず支えあえるような顔の見える関係構築を行う。 【具体的事業】 ● 啓発窓口登録者間のコミュニケーション促進(SNSツール等を活用) ● ペット防災啓発資材の提供	(A)通年 (B)WEB上及び各登録所在地 (C)3人	(D)ペット防災啓発窓口登録者 (E)400件	0
動物避難基金 事業	【事業方針】 動物避難基金設置規定に基づき、災害時に動物避難所が開設された際に、支援金を交付する。支給に必要な準備を進める。支援金の総額は、動物避難基金の額を上限とする。 【具体的な事業】 ● 動物避難基金の運営(受付・審査・交付) ● その他、基金額増加のための寄付募集にかかわる活動 【年度内の具体的な目標】 ● マンスリーサポーター数:150人	(A) 通年 (B) WEB上 (C)3人	(D)民間動物避難所登録者及び避難所利用者 (E)未定	200
動物避難に関 わる広報事業	【事業方針】 動物避難所およびペット防災啓発窓口の登録を増加させるために、説明会の実施等の広報活動を実施する。ペット防災カレンダーの無料配布と連携した施設登録の募集キャンペーンを実施する。 【具体的な事業】 ● うちこ動物避難所活動説明会 ● マンスリーサポーター向けセミナーの開催(年4回) ● 公式LINEおよび各種SNSの運用 ● 登録者数増加に向けたキャンペーンの実施 ● ペット防災カレンダー2026の発行 【年度内の具体的な目標】 ● 動物避難所登録数:150施設 ● マンスリーサポーター:150人	(A)通年 (B)WEB上 (C)4人	(D)社会一般 (E)不特定多数	1,450